

猿ヶ石川通信

Vol.4

第1面 トピックス	田瀬ダム完成 60 周年記念プロジェクト発足
第2面 ニュースファイル	第1回マイリバー猿ヶ石、カッパの川流れ現地調査
第3面 インタビュー	田瀬地域コミュニティ会議会長：菊池祐光さん、他
第4面 インフォメーション	第2回田瀬ダム完成 60 周年記念プロジェクト会議、星空観察会、薪づくり倶楽部

猿ヶ石川流域トピックス



釣り公園の釣り池の状況を確認する参加者。

田瀬ダム完成60周年記念プロジェクト発足！

田瀬ダム周辺施設の現状を確認

ビジョン推進協議会会員の他

田瀬・宮守地区団体、観光団体など31名が参加

推進協議会内にプロジェクトを発足

来年は田瀬ダムが完成してから60年という節目の年を迎えます。

この機会に、施設やイベント等を検証し、今後の地域振興に寄与することを目的として、「田瀬ダム完成60周年記念プロジェクト」が田瀬ダム水源地域ビ

ジョン推進協議会内に発足されました。

その第1回目のプロジェクト運営会議が10月31日(木)に開催され、田瀬湖周辺に整備された各施設を回りました。

それぞれの施設を現場で確認

この日の集合場所は「田瀬ダムものしり館」。ここから、4台の車に分乗して、最初に田瀬湖横峯地区にある「釣り公園」へ移動。釣り公園や隣接するオー



田瀬振興センターの展示室を見学。

トキャンプ場、いこいの森キャンプ場の利用者が、近年大幅に減少している状況について説明いただきました。近くにあるオートキャンプ場と田瀬湖交流センターも見学しました。

そこから、旧田瀬中学校を利用している「田瀬振興センター」へ。ここは、田瀬地域の行事に利用されている他、児童交流やボート競技合宿にも使用されているとのこと。調理室や展示室も見学しました。

次は、田瀬湖対岸にある東和B&G海洋センター



B&G 海洋センター艇庫内のボート。

へ移動。昨年度の実績として、各種ボート大会や合宿、行事などで1万3千人を超える利用者数があるとの説明がありました。この後、艇庫も見学し、合宿として利用される施設の状況を確認できました。

その後は宮守町柏木平地区にある「遠野麦酒苑」に向いました。施設の利用状況を聞いた後に、隣接する研修施設の「ふるさと交流館」も見学しました。

そして最後は、「田瀬ダム」に戻り、ダムの堤体内の監査廊に入り、ダム職員からダムの構造などについて説明を受けました。

全行程約42kmを半日で回るという強行スケジュールでしたが、次回以降のプロジェクト会議では、この視察も活かしながら検討していきます。



ダムの監査廊で説明を聞く。

猿ヶ石川流域ニュースファイル



間伐されない森では下草が生えず、表土が流されやすいことを、発泡スチロールの箱に作った小さな森で実験して説明された。



初めての間伐体験をする子供達。

森と川のつながり体験 マイリバー猿ヶ石

9月29日(日)、猿ヶ石川の水源地である森と川のつながりを体験しながら学ぶ「マイリバー猿ヶ石」が開催されました。

この行事は、昨年12月の田瀬ダム水源地域ビジョン推進協議会内で検討されたもの。猿ヶ石川について、体験を通じて楽しみながら関心を持つていただくことを目的に、ビジョン推進協議会の構成団体で実行委員会を作り実現しました。

今回の参加者は、猿ヶ石川流域の親子を中心とした39名。天候は爽やかな秋晴れ。集合場所の柏木平地区にある遠野麦酒苑で日

程等の説明後、バスに乗ってまずは森林体験に出発しました。

森林体験の場所は、遠野市綾織町内の杉林。ここでは、森林作業のプロである岩手南部森林管理署遠野支署の職員6名が中心となつて指導に当たります。

森に入る前に、森林の機能や間伐などの必要性について説明。その後4グループに分かれて、間伐や枝打ちに挑戦です。

森に入るだけで不安そうなお女の子もあれば、ノコギリ片手にどンドン木を伐る元気な子も。最後は、丸太を輪切りにして、記念のおみやげにしました。

その後はバスに乗り、集合場所の柏木平へ。ここで、伝統的な梁漁を見学し



梁(やな)漁について説明を聞く参加者。

ます。梁を管理している地区の代表の方に、猿ヶ石川の伝統的な漁法である梁について説明を聞きま

糸の先にスルメを結び、ため池に投入。すると、その匂いに誘われて現れたザリガニがハサミでつかんだところをひきあげます。何匹も釣り上げる子もあれば、まったく音無しの方も。大人達も童心に返つて、夢中になってザリガニ釣りを楽しみました。



大人も子供もザリガニ釣りに夢中です。

協議会内で検討されてきました。その実現に向けての現地調査が10月24日(木)に行われました。調査は、この事業の発案者である北上川フィードライフクラブ代表の白畑誠一さんとビジョン事務局で行われました。今回は、猿ヶ石川沿いを陸上からの調査です。

「カッパの川流れ」の後には、川と併走している自転車道を利用して自転車で出発地点に戻ることも考慮し、自転車道が整備されている遠野市宮守町柏木平地区から、上流の小鳥瀬川との落合部(遠野市松崎町)までを回りました。



猿ヶ石川のアユを美味しくいただきます。

そこで、楽しみながら駆除するためのザリガニ釣りです。竹竿に垂らした

カッパの川流れ大会 猿ヶ石川現地調査

「カッパの川流れ」とは、ライフジャケットを着用して、川を流れ下る水辺の遊び体験のこと。猿ヶ石川にはカッパの伝説が数多く残っていることから、「カッパの川流れ大会」と称して川での遊び体験が普及できないかと、田瀬ダム水源地域ビジョン推進



川を調べると、このような人工物も多い。

猿ヶ石川流域インタビュー



田瀬地域 コミュニティ会議会長

菊池 祐光(きくち ゆうこう)さん

昭和 18 年、遠野市綾織町の光明寺に生まれる。駒沢大学仏教学部禅学科卒業後、仏教関係の出版社に 2 年、曹洞宗本部に 3 年務める。その後、光明寺本堂を立て直すという事で、昭和 46 年に遠野へ戻る。翌 47 年から田瀬地区のお寺である興禪院を継ぐことに。同年から 3 年間遠野市社会教育指導員に就き、その後平成 2 年まで田瀬地区に 2 か所あった保育所の所長を務める。昨年秋より田瀬地域コミュニティ会議会長。70 歳。

40 年前は車で 吊り橋を渡った

私は生まれが遠野で、田瀬で暮らすようになって 40 年なんです。当時は、田瀬大橋がまだできていなくて、遠野に通うのも吊り橋を車で渡った。国道がなくなっていたら、とても不便な所でした。

その後、国内のレイクリゾート事業第一号ということで、田瀬湖周辺も賑わいを見せたんですが、現在はアヤマ園も閉園したりと寂しい限りです。

以前は田瀬にも 4 か所の民宿があつて、釣り客などが来ていたんです。「淡水魚の宝庫」と言われてね。冬期間はワカサギ釣りも盛んでしたが、氷が張らなくなつて…。

コイの甘露煮の缶詰を作る水産加工場もあつたんですが、続かなかつたんです。

新たな郷土芸能を つくりたかった

今でも続いているのは

太鼓くらいかな。私は平成元年から、「清流田瀬子ども太鼓」の育成会長を現在まで務めています。

ダムが出来た前までは、各集落に郷土芸能があつたんですが、移転等で離れなくなつていきました。時代も昭和から平成に変わるといふことで、新たな郷土芸能をつくらうとして、太鼓に取り組むことになつたんです。

今は亡くなりましたが、姫神の星吉昭さんがこの地区にいて、息子さんも学校にいたことから、星さんが音楽の指導をしてくださいました。宮古市の山口太鼓の指導者を連れてきてくれたりして。私は育成会の会長として、太鼓を発表す



地域の行事で太鼓を披露する田瀬の子供達。

る場を探して回りました。三陸博でも子ども達は太鼓を演奏したんです。学校を卒業した若者達で、「田瀬激流太鼓」ができ、今では親子で太鼓をするようになった。これは、一つの成果ですね。

上流と下流の 交流ができたら良い

来年は田瀬ダムが完成

して 60 年ということですが、この間の歴史を検証して、その中から何か新たな動きが生まれたら良いと思います。今まで上流と下流の交流がなかったもので、これを機会に、いろんな面での交流する機会も考えたいですね。

将来的に、地域に子どもが増えることにつながるように、みんなで考えていければと思います。

自然ウォッチング 猿ヶ石川の野鳥 File No. 4



カワアイサ(♀ 全長約 65 cm)

冬になるとシベリアから渡来するカモ。田瀬湖、上瀬橋～矢崎橋で毎年見られる。オスは頭と背が深緑色、腹は白でとても美しい。上の写真はメスで、頭部が栗色で背は灰色である。魚を主食に水に潜りとる。(写真提供:とうわ野鳥の会)

猿ヶ石川流域インフォメーション

12/10

田瀬湖周辺地域の活性化を検討 田瀬ダム完成 60 周年記念 プロジェクト 第2回運営会議

本紙 1 面でも紹介しましたが、来年の田瀬ダム 60 周年を記念した事業について検討するプロジェクトが始まっています。第 2 回目は、これまで田瀬湖周辺地域で開催されて来たイベントの状況について、改善すべき点等があるかを協議します。更に、来年度に記念イベント等ができるかについても検討します。このプロジェクトに関心のある方は、下記事務局までお問い合わせ下さい。田瀬湖周辺地域の活性化について、多くの皆さんと共に語り合う機会となればと思いますので、積極的にご参加下さいませ。

- 【日時】 平成 25 年 12 月 10 日(火)
- 【時間】 午後 1 時 30 分～午後 3 時 30 分
- 【集合場所】 田瀬ダム管理支所 3 階会議室 (TEL0198-44-5211)
- 【持ち物】 筆記用具
- 【問い合わせ】 田瀬ダム水源地域ビジョン推進協議会事務局
☎&FAX 0198-64-2250(千葉)



田瀬湖の紅葉。

12/21

二度と戻らぬ彗星が接近！ 自然観察会 「アイソン彗星を見つけよう」

アイソン彗星(ほうき星)は大彗星になるのではないかと期待されています。二度と戻ってこない彗星ですから、見ることは今が最初で最後。広い宇宙でたった一度の出会いを、一緒に観察しませんか。



また、曇り空であいにく星が見えない場合は、早朝バードウォッチングを開催します。ここは川と山、両方の野鳥がたくさん見られる東和町内でも屈指の野鳥観察地です。

- 【日時】 平成 25 年 12 月 21 日(土)早朝 5 時 30 分～7 時
- 【集合】 東和コミュニティセンター
- 【観察場所】 毘沙門神社駐車場
- 【参加費】 100 円(傷害保険料として)
- 【持ち物】 防寒着、長靴、双眼鏡(ある方)
- *小学生以下は保護者同伴を条件とします。
- 【申し込み】 とうわ野鳥の会
☎&FAX 0198-42-4725(斎藤秋雄)

12/1

薪割りはストレス解消に最高ですよ～!! 遠野・薪づくり倶楽部

寒い季節となりました。薪ストーブの暖かな炎が、心と体を暖めてくれます。昨年から毎月一回開催している「薪づくり倶楽部」ですが、今冬も継続して活動しています。毎回、県内各地からの参加者があります。



参加者には、軽トラック一台分の間伐材を利用した薪と交換できる「薪券」が配られます。女性の参加者も大歓迎です。現在「薪」を利用していない方も、ストレス解消や、冬場の運動不足にもなりますので、お気軽にご参加下さいませ。

- 【日時】 平成 25 年 12 月 1 日(日)午前 9 時～午後 3 時
- 【集合】 遠野市福泉寺駐車場
- 【参加費】 無料
- 【持ち物】 昼食、飲み物、作業着、薪割り道具(ある方)
- 【申し込み】 遠野エコネット ☎0198-64-2250(千葉)

Q

「一級河川」と「二級河川」の違いは何ですか？

川 豆 辞 典

A

「一級河川」と「二級河川」の区別は川の規模ではなく、河川を管理する主体の違いで決められています。「一級河川」は国土保全上・国民経済上特に重要であると国土交通大臣が指定した水系に属する川。「二級河川」は、公共の利害に重要な関係があるとして都道府県知事が指定した川です。その他に市町村長が指定する「準用河川」と、特に指定を受けない「普通河川」があります。本流が「一級河川」の場合、その支流も「一級河川」となります。

田瀬ダム水源地域ビジョン推進協議会通信 Vol.4
「猿ヶ石川通信」平成 25 年 11 月号
発行日：平成 25 年 11 月 22 日
発行：田瀬ダム水源地域ビジョン推進協議会
☎ 028-0123 花巻市東和町田瀬 39-1-3
☎ 0198-44-5211
編集：一般社団法人いわて流域ネットワーク
問合せ：☎ & FAX 0198-64-2250 (千葉)
E-mail:pahaya@tonotv.com

いよいよ来年の田瀬ダム完成 60 周年に向けて、記念事業を検討するプロジェクトが発足しました。第一回目の運営会議は、田瀬湖周辺施設の見学でしたが、管理者からの利用状況の説明もあり、地域一帯に多くの施設が点在していることを再確認できました。
今後は、イベントも含めて現状を把握し、それぞれの「点」としての活動を、田瀬湖周辺地域という「面」としての活動にパワーアップできればと思います。プロジェクトに興味ある方は、事務局までお気軽にお問い合わせ下さいませ。(千葉)

編集後記